



道具を使わず気軽にできるので、自分のペースで続けられます。

年を取っても人間らしく暮らせるように

シルバーリハビリ体操指導士養成講習会キックオフイベント

8月20日(水)、にぎわいの里ののいち カミーノでシルバーリハビリ体操指導士養成講習会キックオフイベントが開催されました。シルバーリハビリ体操は、リハビリ専門職が治療に使う運動を基に考案された介護予防のための体操です。イベントには約60人が参加し、介護予防に関する講話を聞き、体操を体験しました。9月下旬からは養成講習会が開始し、計6日間の講習を受け誕生した指導士30人が、地域での体操普及のボランティアとして活躍する予定です。

身近な“かがく”に触れてみよう！

かがく実験教室「ポンプ飛行機&ロケットを飛ばそう」

8月24日(日)、学びの杜ののいち カレードで「ポンプ飛行機&ロケットを飛ばそう」と題した教室が開かれました。参加した小学生とその保護者は、講師の木谷誠治氏の説明を受け、まずは発射装置となる空気ポンプを、空気入れとストローをテープでくっつけて作ります。飛行機はストローとスポンジをくっつけて、ロケットは台紙を切ったのり付けして、完成。思い思いの機体を仕上げ、発射タイムでは「意外とむずい」「もう10回は箱に入った！」と夢中で楽しんでいました。



狙いを定めて発射！ 見事箱に入り大喜び（右上）。



来場者40人が耳を傾け、平和の大切さについて考えました。

平和への思いを新たに

「平和の旅」事業報告会

市では毎年8月6日に広島市で開催される「平和記念式典」に合わせて市内中学生を派遣し、戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶ機会を提供する「平和の旅」事業を実施しています。

8月26日(火)、市役所で事業報告会が行われ、平和の旅に参加した市内中学生14人が、旅を通して経験し学んだことを発表しました。生徒たちが感じた平和への思いを共有し、未来へとつなげていく大切な機会となりました。



ホールでの地震発生時は、落下物から頭を守ることが大切です。

コンサート中に地震！どうしたらいい？

中部航空音楽隊 避難訓練コンサート

コンサート中に災害が発生したという想定で来場者が避難する「避難訓練コンサート」が8月30日(土)、文化会館フォルテで開催されました。中部航空音楽隊による演奏を楽しんでいると、「地震です！」というアナウンスが流れ訓練がスタート。身をかかめ頭を守る行動をとった後、スタッフの誘導に従いホールの外に避難しました。来場者は「とてもためになった。落ち着いて行動できるよう、普段から避難経路などを確認する癖をつけておきたい」と話していました。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227 - 6056

街道のにぎわいは今年も健在！

第13回北国街道野々市の市

9月7日(日)、旧北国街道沿い（本町通り）を歩行者優先道路にして「北国街道野々市の市」が開催されました。イベント開始直後から街道は多くの人でにぎわい、活気に満ちていました。通りには食事や物販など56のブースが立ち並び、来場者を出迎えました。郷土資料館 NoNo では演奏や展示などが、布市神社前では弁慶の力石コンテストが行われるなど催しが目白押し。メインステージでは、市内の団体に加え、2年連続で「輪島高洲太鼓」が友情出演しました。全員の息の合ったパフォーマンスや楽しそうに太鼓を叩く姿に、多くの観客が目を奪われていました。

また夜には、手作りの灯籠が並べられた街道で「野々市じょんから節」の踊り流しが行われました。令和6年能登半島地震で野々市市に集団避難していた輪島市鶴巣地区の住民約40人が昨年に続いて招待され、総勢約250人となった参加者は、交流と踊りを楽しんでいました。



①多くの人でにぎわう通りの様子。②輪島高洲太鼓の迫力ある演奏。③「野々市じょんから節」の踊り流し。街道に並べられた灯籠は600個以上！④石の模型を投げてその飛距離を競う「弁慶の力石コンテスト」。⑤郷土資料館での優美な箏曲（そうきょく）。

こどもたちのワクワクが爆発！

こどものまち BomBomTown2025

8月17日(日)・18日(月)、にぎわいの里ののいちカミーノで体験型消費者教育事業「こどものまち BomBomTown2025」が開催され、約100人の児童が参加しました。児童たちは仮想のまちで就職や起業を体験し、疑似通貨で納税や買い物しながら社会の仕組みを学びました。選挙で選ばれたまちのキャプテン・齋藤陽子さん（写真右下）は宝探しイベントを企画し、笑顔いっぱいのもち作りを目指しました。児童たちが主体的に行動する力を養い、成長する貴重な機会となりました。



こどものまちには警察署もあります。

最新技術に触れる教室

3Dプリンター入門

学びの杜ののいち カレードで8月18日(月)に3Dプリンターを体験する教室が行われました。今回は4組の参加者がのっティのキーホルダーを作成しました。まず専用ホームページでキーホルダーのデータを作ります。そのデータを基に3Dプリンターがプラスチックの薄い層を一層ずつ積み重ね、約40分かけて完成させました。参加者からは「3Dデータ作成や3Dプリンターでの制作にさらに興味を持った」との声が聞かれました。



完成したのっティキーホルダーとパジャリ（右上）。